

令和 6 年度 南区自治協議会提案事業

「南区まちづくり活動サポート事業」実施報告書

令和 7 年 2 月 28 日

団体名 庄瀬地域コミュニティ協議会

代表者氏名 田中 美智郎

- 1 提案事業名 続・温故知新～もっと愛するまち庄瀬
- 2 事業内容 地域の行事や団体活動をテーマとしたエピソード集の作成
7 月～ 小学校の夏季休業課題として祖父母への取材依頼
8 月～ 地域住民へ情報、写真提供依頼
9 月～ 地域の茶の間等での聞き取り
10 月 19 日 地区文化祭にて写真展開催と情報収集
12 月～ 冊子編集作業
2 月 7 日 小学校にて総合授業
2 月 28 日 冊子配布

3 評価と課題

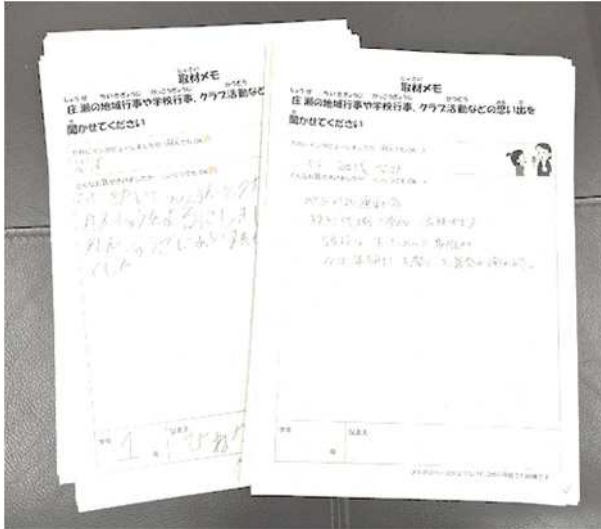
当事業は令和 5 年度のまちづくり活動サポート事業で作成した「温故知新～愛するまち庄瀬」（商工業をテーマとした冊子）の続編として地域活動をテーマとしたエピソード集「続・温故知新～もっと愛するまち庄瀬」を作成し、活発だった地域の様子を後世に伝承することを目的として実施した。

少子高齢化に伴い、現在ではサークルやスポ少などの活動団体が激減してしまったが、ひと昔前の庄瀬は多種多様な活動が活発に行われていた。今回の冊子編集の段階において多世代で語り合う機会を作ることができ、活動の背景にある地域住民同士の繋がりと地域愛の強さを伝えることができた。当時の正式な資料は残っていないことから、あくまでも住民の記憶の中にあるエピソードを集めたものだが、少しでも多くの方から情報を引き出せるようにと地区文化祭にて温故知新ブースを出展し、写真やそれまで寄せられたエピソードを展示したところ、当時を知らない若い世代からは驚きの声、高齢者からは昔を懐かしむ声が多く聞かれた。昨年度同様、昔話で盛り上がる地域民の姿は皆満面の笑みを浮かべ大変印象的であった。小学校では地域の高齢者から実際に話を聞く機会を設けてもらい、子ども達にとって大変興味深い話をきかせていただいた。子ども達からは当時の学校の様子などについて多くの質問が出された。地域での暮らしを全力で楽しむ姿は現代の子どもや若い世代にとって新鮮であり、自分たちもそうなりたいという気持ちを少なからず持つことができたのではないかと思われる。

もっと多くの事業や活動があったのだが、取材の時間が足らず情報を集めきれなかったことが課題として残っているので、今後もこの冊子をもとに多世代交流する機会を作ったり、文化祭での展示や広報への掲載などで地域のすばらしい歴史を広く周知させ、これからの地域活性のヒントとしたい。

4 実施状況写真

夏休みの児童取材メモ



地区文化祭での展示 (10/21 庄瀬小学校)



生活センターでの写真展示



2/7 庄瀬小学校（3年生） 地域の高齢者による授業



収支決算書

収入内訳

(単位:円)

収入項目	予算額	決算額	内 訳
南区まちづくり活動サポート事業委託料	300,000	300,000	新潟市からの委託料
自己負担		242	コミ協より
収入合計	300,000	300,242	

支出内訳

(単位:円)

支出項目	予算額	決算額	内 訳	委託料 充 当
印刷製本費	270,000	277,800	アサヒ印刷 冊子印刷代 情報提供依頼、取材用紙コピー代	○
報償費	20,000	13,716	小学校授業ボランティア謝礼 文化祭ブース参加賞	○
消耗品費	5,000	8,726	文化祭写真展示用印画紙、インク	○
食糧費	5,000	0		
支出合計	300,000	300,242		

※1 支出内訳で、南区まちづくり活動サポート事業委託料を充当した項目は、「委託料充当」欄に○を記入してください。

※2 領収書の写しを必ず添付してください。